

「緑の募金」趣意書

「緑の募金」は、昭和 25 年、戦後の荒廃した国土に再び緑を取り戻すための国土緑化運動として発足しました。以来、多くの県民の皆さまに支えられ、本県においては当委員会が中心となって募金活動を展開してまいりました。ご寄附いただいた募金は、森林整備をはじめ、学校や公共施設の緑化、さらには次代を担う緑の少年団の育成などに活用され、県内の緑化推進に大きく寄与しています。

また、21 世紀に入り、地球規模での環境破壊や地球温暖化が顕在化する中、二酸化炭素を吸収して温暖化防止に寄与し、あらゆる生物の活動の場ともなる森林や緑の重要性は、これまで以上に高まり、大きな注目を集めています。

私たちの身近にある森林や緑は、命の源である水を育み、県土を保全し、災害から私たちの暮らしを守る、かけがえのない財産です。

当委員会では、この貴重な財産を 21 世紀の百年をかけて守り育て、22 世紀へ「緑の遺産」として引き継ぐ「にいがた緑の百年物語県民運動」に、企業・団体、森林ボランティア、緑の少年団をはじめとする県民の皆さまとともに取り組んでいます。

さらに近年は、異常気象に伴う豪雨災害や豪雪など多くの自然災害が発生しており、当委員会では、これら被災地への継続的な緑の復興支援にも取り組んでいます。

県内各地で展開される多様な緑化活動を今後も大切に育み、支えていくためには、「緑の募金」の一層の拡大が欠かせません。

今年度も「**緑の募金で進めようSDGs**」をスローガンに、緑の募金法に基づく春の「緑の募金運動」が全国一斉に展開されます。これに合わせ、当委員会では、今年度の募金目標額を 7,000 万円と定め、4 月 1 日から 5 月 31 日までの期間で春の「緑の募金運動」を実施します。

皆さまにおかれましては、「緑の募金」の趣旨をご理解いただき、本運動への温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 4 月



公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

理事長 平山 征夫

